

2017年度省エネトップランナー基準を達成した コロナエコキュート ハイグレードタイプ新登場！

株式会社コロナ(本社:新潟県三条市 社長:内田 力)は、家庭用エコキュート(自然冷媒 CO₂ヒートポンプ給湯機)の新製品として、2017年度を目標年度とする省エネトップランナー基準を達成したハイグレードタイプ5機種を4月から順次発売します。

★発売する商品

タイプ	タンク容量 (使用する家族 人数のめやす)	形式	機能	年間給湯 保温効率 (JIS)※1	省エネ基準 達成率 目標年度 2017年度		価格(税抜)	発売時期
ハイグレード タイプ エコキュート	370L (3～5人)	CHP-37AX2	フルオート	3.3 〔区分名:17〕		100%	780,000 円 795,000 円	4 月上旬
		CHP-37AX2-2	フルオート エマージェンシー ストップ機能付き			100%	790,000 円 805,000 円	6 月上旬
	460L (4～7人)	CHP-46AX2	フルオート			100%	850,000 円 865,000 円	4月上旬
	370L (3～5人)	CHP-E37AX2	フルオート 高圧カパワフル給湯			100%	860,000 円 875,000 円	
	460L (4～7人)	CHP-E46AX2				100%	930,000 円 945,000 円	

価格は上段:ボイスリモコンセット付き、下段:インターホンリモコンセット付きの税抜き価格です。消費税、設置工事費、部材費は別途必要となります。

★商品の概要

家庭用エコキュートは2013年3月1日施行の省エネルギー法に基づき、2017年度を目標年度とする省エネ性能の目標基準(トップランナー基準)が設けられました。これに伴い、それぞれの機種に対し省エネトップランナー基準の達成度を示す「省エネルギーラベル」表示を実施してまいります。「省エネルギーラベル」では、トップランナー基準を達成した(省エネ基準達成率100%以上)製品にはグリーンマークを表示し、未達成(100%未満)の製品にはオレンジマークを表示します。

この度の新製品5機種の投入により、2014年モデルは全機種省エネトップランナー基準を達成となります。

貯湯ユニットは従来からの3本脚構造を維持したまま、細部の強化を図り、耐震性を向上しています。
(耐震クラス 370LタイプはクラスS対応。460LタイプはクラスA対応^{※2})

【本件に関するお問合せ先】

株式会社コロナ <http://www.corona.co.jp>

〒955-8510 新潟県三条市東新保7番7号

TEL:0256-32-2111

E-mail:info@hode01.corona.co.jp

● 報道関係からのお問合せ先 株式会社コロナ 広報室

● お客様からのお問合せ先 株式会社コロナ 営業本部

★新製品の特長

1. 2017年度省エネトップランナー基準達成！年間給湯保温効率(JIS)^{※1}3.3の高効率

今回発売するハイグレードタイプエコキュートは、沸上げ制御のさらなる最適化とヒートポンプユニットに高効率な熱交換器を採用したことにより、年間給湯保温効率(JIS)^{※1}3.3を達成しました。
(従来機種 CHP-37AX1 は 3.0)

[区分17]

 目標年度 2017年度	省エネ基準達成率 100%	年間給湯保温効率 3.3
--	-------------------------	------------------------

2. 耐震性にも配慮。従来機種と同じ3本脚で耐震クラスS対応^{※2}

従来の高強度設計に加え、細部の強化を図りさらに耐震性を向上させました。従来と同じ3本脚で耐震クラスSに対応^{※2}しています。(370Lタイプにおいて。460LタイプはクラスA対応)

従来と同じ3本脚のままなので機具の買い替え(入れ替え)の場合でもアンカーボルト穴の開けなおし等が不要になることが多く、施工時間の短縮や工事費の軽減が図れます。



※1: 年間給湯保温効率(JIS)は、日本工業規格 JIS C 9220: 2011 に基づき、ヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量及び保温熱量を表したものです。ふろ保温機能のあるものは年間給湯保温効率(JIS)とし、以下の式で求められます。

年間給湯保温効率(JIS) = 1 年間で使用する給湯とふろ保温に係る熱量 ÷ 1 年間に必要な消費電力量

地域や運転モードの設定、ご使用状況等により異なります。

年間給湯保温効率(JIS)の算出時の条件

着霜期高温加熱条件: 外気温(乾球温度/湿球温度)2℃/1℃、水温 5℃、沸上げ温度 90℃

冬期給湯保温モード条件における沸上げ温度 70℃、着霜期給湯保温モード条件における沸上げ温度 72℃

※2: 一般財団法人 日本建築センター「建築設備耐震設計・施工指針」における「局部震度法による建築設備機器の設計用標準震度」に基づいて設計。クラスSは設計用標準震度KH=2.0(満水質量の 2 倍の荷重)に耐えること。クラスAは設計用標準震度KH=1.5(満水質量の 1.5 倍の荷重)に耐えること。

試験条件: 満水の機器を所定の方法にて固定し、重心位置に対して弱軸方向へ連続的に荷重を加え、機器が設計用標準震度に耐えることを確認。

〇「エコキュート」の名称は、電力会社・給湯機メーカーが自然冷媒 CO₂ ヒートポンプ給湯機の実称として使用しているものです。

★仕様

		ハイグレードタイプ				
システム	形式	CHP-37AX2	CHP-37AX2-2	CHP-E37AX2	CHP-46AX2	CHP-E46AX2
	タイプ	フルオート(一般地)				
	適用電力制度	時間帯別電灯型、季節別時間帯別電灯型(通電制御型)				
	相数 定格電圧 定格周波数	単相 200V 50／60Hz				
	最大電流	16A			17A	
	沸上げ温度範囲	約 65℃～約 90℃				
	年間給湯保温効率(JIS)注1 注2	3.3				
	区分名注3	17				
	仕向地 注4	次世代省エネルギー基準Ⅲ地域(H25 年省エネルギー基準4地域)以南				
貯湯ユニット	形式	CTU-37AX2	CTU-37AX2-2	CTU-E37AX2	CTU-46AX2	CTU-E46AX2
	種類	屋外形	屋内形	屋外形		
	タンク容量	370L			460L	
	水側最高使用圧力	190kPa(減圧弁設定圧 170kPa)		290kPa(減圧弁設定圧:260kPa)	190kPa(減圧弁設定圧 170kPa)	290kPa(減圧弁設定圧:260kPa)
	外形寸法(高さ×幅×奥行)	1,860×630×730 mm			1,850×700×795 mm	
	質量(製品質量／満水時質量)	59 kg／429 kg	60 kg／430 kg	61 kg／431 kg	70 kg／530 kg	72 kg／532 kg
	消費電力	65W:循環ポンプ				
	ふろ保温 制御用	6W(リモコン消灯時 5W)				
	貯湯機能	おまかせ省エネ・おまかせ・使いきり・満タン／タンク湯増し・今日の湯増し休止				
	ふろ給湯機能	自動湯はり・自動保温・省エネ保温・自動たし湯・追いだし・たし湯・さし水・高温さし湯				
	基準浴槽	有効水量 180L～220L(満水容積 340L 以下の浴槽)				
ヒートポンプユニット	形式	CHP-M4514			CHP-M6014	
	外形寸法(高さ×幅×奥行)	650×820[カバー部+80]×300 mm			690×820[カバー部+80]×300 mm	
	質量	48kg			50kg	
	中間期標準加熱能力／消費電力 注5 注6	4.5kW／0.970kW			6.0kW／1.325kW	
	ヒートポンプ運転音 注8 (中間期 注6／冬期 注7)	38／43dB			42／45dB	
	冷媒名及び封入量	CO ₂ 0.810 kg			CO ₂ 0.890 kg	
	設計圧力(高圧／低圧)	14.0MPa／8.5MPa				
	設置可能最低外気温度	－10℃				

注1: 年間給湯保温効率(JIS)は、日本工業規格 JIS C 9220:2011 に基づき、ヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量及び保温熱量を表したものです。ふろ保温機能のあるものは年間給湯保温効率(JIS)とし、以下の式で求められます。

年間給湯保温効率(JIS) = 1 年間で使用する給湯とふろ保温に係る熱量 ÷ 1 年間に必要な消費電力量

地域や運転モードの設定、ご使用状況等により異なります。

注2: 年間給湯保温効率(JIS)算出時の条件

着霜期高温加熱条件: 外気温(乾球温度/湿球温度)2℃/1℃、水温 5℃、沸上げ温度 90℃

冬期給湯保温モード条件における沸上げ温度 70℃、着霜期給湯保温モード条件における沸上げ温度 72℃

注3: 省エネ法に基づく区分名。区分 17 とは、想定世帯:標準、貯湯容量:320L以上 550L未満、仕様:寒冷地仕様以外、保温機能:有、貯湯缶数:一缶の製品。

注4: 次世代省エネルギー基準Ⅲ地域(H25 年省エネルギー基準4地域):主に宮城、山形、福島、栃木、新潟、長野県の一部など

注5: 沸上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。

注6: 中間期標準加熱条件: 外気温(乾球温度/湿球温度)16℃/12℃、水温 17℃、沸上げ温度 65℃

注7: 冬期高温加熱条件: 外気温(乾球温度/湿球温度)7℃/6℃、水温 9℃、沸上げ温度 90℃

注8: 運転音は、JIS C 9220:2011 に準拠し、反響の少ない無響室で測定した数値です。実際に据え付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響等の影響を受け、表示数値より大きくなるのが普通です。

○開発中につき仕様等が変更となる場合があります。